

令和4年度高知県高等学校体育大会

自転車競技専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

全般的な事項

- (1) 実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
 - (2) 実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
 - (3) 参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式1-1、1-2】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票（団体票）を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式2-1】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-1、1-2】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式2-2】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-1、1-2】の原本については、2週間保存しておくこと。
- また、参加校は競技期間中に感染者または濃厚接触者および体調不良者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに連絡を取り詳細を報告すること。その後は医療機関や保健所、関係機関等及び実施専門部の指示に従うこと。実施専門部は指定書式【様式3】を作成し、県高体連へ速やかに報告すること。

※P10 IV感染者が発生した場合の基本的な対応について 参照

- (4) 実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2-1、2-2】の原本および【様式1-1、1-2】の写しを、2週間保存しておくこと。
- (5) 大会役員等は【様式1-4】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票（個票）を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後1週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- (6) 参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認、および自宅待機要請者（令和4年4月22付け4高保体第86号参照）が確認された場合は、医療機関や保健所、関係機関等の指示に従うこと。
- (7) 参加校は大会終了後も【様式1-3】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票（団体票）を用い、1週間に渡りチェックを継続し、2週間保存すること。
- (8) 参加校は、競技終了後1週間以内に感染者が発生した場合は、実施専門部に対して速やかに連絡を取り詳細を報告すること。実施専門部は指定書式【様式4】を作成

し、県高体連へ速やかに報告すること。

※P11 IV感染者が発生した場合の基本的な対応について 参照

(9) 大会参加者は、医療機関や隔離施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送について、各自（各学校）の責任で行うこと。

(10) 取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式 1-4】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票（個票）をダウンロードし、各競技大会 2 週間前から大会参加終了日までチェックすること。取材当日は入場の際に大会本部へ行き「参加者名簿」へ必要事項を記入すること。大会終了後 1 週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。また個票は保存期間 2 週間とし、専門部の求めに応じて提出すること。

(11) 安全・安心な大会運営のため、選手・監督等大会関係者は大会期間中のみならず、日頃から体調管理に十分留意すること。そのうえで、発熱等の体調不良があった場合には、速やかに医療機関による診断を仰ぐとともに、その状況についてチェックリスト等へ誠実に記載すること。

【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <https://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DL 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
団体票 【様式 1-1】 【様式 1-2】	参加校	・ 2 週間体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 専門部より求めがあれば原本を提出	各校顧問	大会終了後 2 週間
団体票 【様式 1-3】	参加校	・ 大会後 1 週間体調チェックし作成 ・ 専門部より求めがあれば提出	各校顧問	
個票 【様式 1-4】	大会役員等 取材団体 (参加校)	・ 2 週間体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 専門部より求めがあれば原本を提出 ※参加選手は団体票【様式 1-1、1-2】 ではなく個票での対応も認める。 運用上の取り扱いは団体票と同義とする	作成者 ※参加選手 において は各校 顧問	
【様式 2-1】	参加校 (学校長)	・ 大会前 2 週間の健康チェック内容を学 校長が確認し、 <u>公印を押印し作成</u> ←※注意 ・ 大会当日に顧問が大会本部へ【様式 1	専門部	

		- 1、1-2】(個票【様式1-4】を用いた場合も同様)の写しを添えて提出	
【様式2-2】	参加校	・大会日毎に作成 ・大会参加を自粛するものがある場合は所属長および実施専門部へ状況を報告 ・大会本部へ提出	専門部
【様式3】	専門部	・競技期間中に1-(3)に該当する者が出た場合	専門部
【様式4】	専門部	・競技終了後に1-(8)に該当する者が出た場合	専門部

※【様式2-1】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

※大会開催中においても、自校生徒への体調確認等は顧問が責任を持って行うこと。(顧問で判断できないケースが発生した場合には必ず所属長への確認をとること)

2 当日の参加受付時の留意事項

実施専門部は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- (1) 受付には、手指消毒剤を設置すること。
- (2) 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- (3) 受付を行うスタッフにはマスクを着用させること。
- (4) 人と人との対面する場所は、経費面を考慮して、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- (5) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼紙などにより注意を促すこと。
- (6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ等の通知サービスを積極的に活用すること。

3 大会参加者への対応

(1) 参加における体調の確認

実施専門部は大会参加者に以下の事項が記載された【様式1-1、1-2】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票(団体票)を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックさせ、学校ごとに【様式2-1】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認について(団体票)と【様式1-1、1-2】の写しを提出させること。

また、【様式2-2】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についても大会期間中は大会日ごとに提出させること。

提出に関しては個人情報の取り扱いに十分注意し、引率責任者（顧問教諭等）が提出すること。

●ア 大会当日の体温

●大会前2週間に於ける以下の事項の有無

イ 平熱を超える発熱がある

ウ 咳、咽頭痛など風邪の症状がある

エ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある

オ 嗅覚や味覚の異常がある

カ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある、または学校より自宅待機要請者等として出席停止措置を受けている

キ 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方がいる

ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

◎ワクチン接種により体調不良が発生した場合は、顧問に申し出て団体票（又は個票）の備考欄に記載すること

イ～オの症状が見られる場合は医療機関等を受診し、団体票（個票）の備考欄にその診断結果等を記載すること

※大会への参加については、大会参加前2週間の健康観察状況（上記ア～ク）と当日の状況から適切に判断し安全・安心を最優先に考え、参加校の責任において決めること。また、医療機関等の指示がある場合は遵守すること。

※各中央競技団体ガイドラインにて大会参加の判断基準が定められている場合はその基準を尊重し、「競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン」へ明記すること。

（2）マスクの準備

引率責任者（顧問教諭等）は、大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、着用についても徹底指導すること。なお、競技中のマスクの着用は大会参加者等の判断によるもの（※）とするものの、参加の受付、着替え、表彰式等、競技を行っていない間、特に会話するときには、必ずマスクを着用すること。

※マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に悪影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知すること。

（3）大会参加前後の留意事項

大会参加者は、大会前後のミーティング等においても、3つの密を避けること、会話時にマスクを着用すること、黙食など感染症対策に十分配慮すること。

(3) 競技運営上の感染対策留意事項

競技全般

- ① 大声での声援をしないこと。競技・ウォームアップをしているもの以外は必ずマスクを着用すること。
- ② 1 kmタイムトライアル、個人・団体追い抜き、スクラッチ、ポイントレース、4km 速度競走においては各チーム 1 名まで(選手でも監督でも可)、フィールド内緑色のゾーンでタイムやポイントを通知・指示することを許可する。
- ③ 競技をしていない選手の観戦の際は敢闘門前通路で密集を避けて行うこと。

タイム種目に関して

- ① タイム種目の招集は 2～3 組ごとに行う、放送で招集されるまでは各校待機場所もしくはウォームアップゾーンで待機・準備をすること。
- ② 出走を待つ走者(次走者)は陸上競技走路上で待機すること。マスク着用・アップシューズでフィールドに入り、マスクと靴を履き替えてホルダーのところに向かうこと。
- ③ ②の形式で行うため、マスクをしまうものを準備すること(シューズ入れと兼用でも構わない)。

集団種目に関して

- ① 出走前のヘルメットキャップの配布とヘルメット(JCF ステッカー)の確認は放送で呼び出しを行うので注意すること。
- ② 競技中の競技者の発声は安全のために可とするが、過剰な大声にならないこと。

競技間の待機時・昼食時

- ① トイレやエレベーター等、多くの参加者・役員が使用する箇所については手洗い・消毒を徹底すること。運営側でも消毒液等は準備するが、各自で除菌シートなどを準備することが望ましい。
- ② 昼食は原則黙食とし、他校の生徒と食事をとらないようにすること。同じ学校でも身体的距離をとり、極力向かい合わないように留意すること。
- ③ 換気の徹底のため、窓は開放する。選手・監督の判断で開閉を行わないこと。